

学校給食について

学校給食では、児童一人一人が正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるようになることを目標としています。また、楽しい食事や給食活動を通じて、豊かな心を育成し、社会性を養います。集団生活の中で給食時間が楽しく過ごせるよう、ご家庭のご理解、ご協力をお願いいたします。

1 戸田市の学校給食について

戸田市の小学校では、給食センター調理と自校調理の2種類の方式をとっており、新曽北小学校は、自校調理方式です。栄養教諭が献立作成・食材発注・調理指示を行い、委託調理員がそれに従い調理します。

基本的に米飯給食を実施（週4回）しており、それ以外の日をパンまたは麺給食としております。なお、牛乳は毎日提供しており、月に1回、お楽しみとして牛乳以外の飲み物がつきます。

2 新曽北小学校の給食について

☆学校給食摂取基準

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (%)	脂質 (%)	ナトリウム (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン				食物繊維 (g)
							A (μ g RE)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)	
児童(8歳～9歳) 1食あたり	650	摂取エネルギーの	摂取エネルギーの	2.0 未満	350	3	200	0.4	0.4	25	4.5 以上
1日の摂取基準に対する 学校給食の割合(%)	33	13% ～20%	20% ～30%	33	50	40	40	40	40	40	40

学校給食は、文部科学省の学校給食実施基準を基に作成されています。この基準は、家庭で不足しがちな栄養素を考慮して決められており、1日に必要な栄養量の1/3以上が満たされるようになっています。特にカルシウムは、1日に必要な量の1/2を摂取できます。

☆学校給食費（市内全校同額）

月額 4,000円（年間180回） ※1年生は164回、4月の給食費は別金額になります。

- ・給食費は、食材料費のみです。人件費、光熱費、備品・食器・食缶代等は戸田市で負担しています。
- ・令和5年度から第3子以降のお子様に係る給食費は申請により免除となっています。

☆給食用持ち物については、学年だより等でご確認ください。すべてに名前をご記入ください。

3 給食の留意事項について

・給食時間

給食時間は、準備・片付けを含めて12時20分から13時までです。食事時間は20分程度です。日ごろから、「テレビを見ながら」「遊びながら」といった「ながら食べ」ではなく、ある程度決められた時間内に食べられるようにしておいてください。

・食事のマナー

はしやスプーンの使い方、椅子に座る姿勢、食べながらお喋りしないなど、基本的な食事のマナーを身につけておきましょう。また、食事の前に手を洗う、「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつをすることも大切な食育です。

飲み物にストローをさす、ジャムの小袋を切ってパンにぬる、果物の皮をむくなど、ご家庭で練習しておいてください。また、学校では児童が順番に給食当番をするので、盛り付けなど配膳にも慣れておいてください。

・給食着

当番のときに着るエプロンは、金曜日に持ち帰りますので、洗ってアイロンをかけ、月曜日に持たせてください。洗濯方法については、香りに敏感な子供もいるため、柔軟剤等香りの強い洗剤の使用は避けるようお願いします。

なお、学校の給食着を使うことが気になる場合は、エプロン・三角巾等、ご家庭で代わりになる物をご準備いただいても構いません（はしやスプーンも同様に準備いただいても構いません）。

4 アレルギー・偏食等について

食物アレルギーについては、「資料のみ配付」「除去食提供」「給食停止」等の対応をしています。第一に、医師の診断に従うことが大切です。食物アレルギーで食べてはいけないものがある場合は、必ずご相談ください。別途「食物アレルギー個別取組プラン」等必要書類をお渡しします。

アレルギーや病気によるもの以外の偏食については、離乳期から今までに身についたものです。ご家庭と学校が協力して時間をかけて指導をしていく必要があります。学校においては個人差に応じた給食指導を実施しています。

＊少食の児童や嫌いなものがある児童には、少しだけ盛り付けて食べられたという成功体験を積み重ねます。食べられたことをほめて意欲を高めます。

5 早ね・早おき・朝ごはん

登校時刻に合わせて「朝ごはんを食べる」習慣を身につけてください。朝ごはんは「主食・主菜・副菜・汁物」がそろうように心がけましょう。また、登校前に排便をすませることも大切です。

ご家族の方々の生活習慣は、子供に大きく影響します。例えば、大人と一緒にテレビを観たり、お兄さんやお姉さんと一緒に遊んでいたりして、夜遅くまで起きていることが多くなってしまうことがあります。大人にとっては遅くない時間でも、成長期の子供にとっては夜更かしになってしまいます。食習慣についても同様です。成長期の子供の体は、日々たくさんのエネルギーや栄養を必要とします。成長に合った食生活を送れるよう、また望ましい生活習慣が身につけられるよう、ご家庭と学校で一緒に取り組んでいきましょう。